

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費	担当部局庁	年金局	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度	担当課室	事業企画課	事業企画課長 塚本 力
会計区分	年金特別会計業務勘定	施策名	IV-6-2 公的年金制度の信頼を確保するため、公的年金制度の適正な事業運営を図る	
根拠法令(具体的な条項も記載)	国民年金法第74条2項及び厚生年金保険法第79条2項	関係する計画、通知等	「公的年金業務の業務・システム最適化計画」(平成18年3月厚生労働省情報政策会議決定。平成23年3月改定。)	

事業の目的
(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)
「電子政府構築計画」(平成15年7月各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)中の「レガシーシステム見直しのための厚生労働省行動計画(アクション・プログラム)」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステム構築の実現により、コスト削減等を図る。

事業概要
(5行程度以内。別添可)
「公的年金業務の業務・システム最適化計画」(平成18年3月厚生労働省情報政策会議決定。平成23年3月改定。))に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムの構築を実現する。

実施方法
 直接実施
 委託・請負
 補助
 負担
 交付
 貸付
 その他

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	68,572	46,271	12,077	292	2,684
		補正予算					
		繰越し等	13,057	7,411			
		計	81,628	53,682	12,077	292	2,684
	執行額	63,774	45,286	11,900			
執行率 (%)		78.1%	84.4%	98.5%			

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	膨大な被保険者等の記録の長期間の管理等を行っている社会保険オンラインシステムのオープン化等(記録管理及び基礎年金番号管理システムにおける専用機器から汎用機器への移行・ソフトウェアの再構築等)を図るものであり、定量的な数値指標(達成度)は設定していない。	成果実績		-	-	-
	達成度	%	-	-	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	社会保険オンラインシステムのオープン化等(記録管理及び基礎年金番号管理システムにおける専用機器から汎用機器への移行・ソフトウェアの再構築等)を図ることとしているが、オープン化前の現時点において、活動指標及び活動実績に係る指標は設定していない。	活動実績 (当初見込み)		-	-	-
			-	-	-	(-)

単位当たりコスト	-	算出根拠	-
-----------------	---	------	---

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	庁費の類	292	2,684	
	計	292	2,684	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムを構築することを目的としており、コスト削減等を図るために必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国民年金制度及び厚生年金保険制度の運営責任を持つ国において行うべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	過去の作業実施結果・方法等を踏まえて実施する必要があるもの等については随意契約としている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	国民年金法、厚生年金保険法に基づき、国民年金保険料、厚生年金保険料をそれぞれのシステム見直しのための経費に充てており、負担関係は妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の安定的な実施のために必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	社会保険オンラインシステムは、国民年金事業、厚生年金保険事業の運営にあたり不可欠のシステムとして活用されている。	
点検結果	当該事業は、「公的年金業務の業務・システム最適化計画」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステム構築の実現ため必要なものであり、執行実績等を踏まえ、効率的な概算要求を行う必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0877	平成23年行政事業レビュー	0774

厚生労働省
1,587百万円

(システム保守、貸借等)

↓ 【一般競争入札、随意契約】

A.
(株)エヌ・ティ・ティ・データ 1,526百万円
有限責任監査法人トーマツ 46百万円
日本アイ・ピー・エム 15百万円

厚生労働省
10,313百万円

(記録管理・基礎年金番号管理システム利用料)

↓ 【随意契約】

B. (株)エヌ・ティ・ティ・データ 10,313百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	年金業務システム基本設計補完業務 (業務ソフトウェア)	1,526			
計		1,526	計		0
B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	記録管理・基礎年金番号管理システム 利用料の支払	10,313			
計		10,313	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	年金業務システム基本設計補完業務(業務ソフトウェア)(平成23年度履行分)	1,526	1	99.9
3	有限責任監査法人トーマツ	社会保険オンラインシステムの開発等に係る価格等の妥当性に関する調査業務	46	2	39.3
4	日本アイ・ピー・エム(株)	公的年金業務の業務・システム最適化実施に係る分析・検証等業務	15	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	記録管理・基礎年金番号管理システム利用料の支払	10,313	随意契約	